

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

トヨタ研究開発減税1位

ダントツの120
1億円
13年度 本紙試
算 最高益 2・3
兆円の一方で

2013年度に6240億円にのぼった法人税の研究開発減税のうち、総額の約2割に及ぶ1201億円もの最多の減税を受けていたのは、トヨタ自動車(豊田章男社長)であることが本紙の試算でわかりました。

研究開発減税は、対象を絞って税制上の優遇措置を講じる租税特別措置の一種です。

13年度の租税特別措置に関する政府の調査報告書によれば、研究開発減税の最多減税額(1201億円)は2位(212億円)以下と比べ、飛び抜けて巨額。また業種別減税額は「輸送用機械器具製造業」(2256億円)が突出して多く、2位の「化学工業」(1125億円)以下を引き離していました。1社で1201億円もの減税を受けた企業の業種は輸送用機械器具製造業しかありません。

政府報告書は企業名を伏せていますが、有価証券報告書の「財務諸表」「税効果会計」からトヨタ自動車を受けた研究開発減

税額を試算したところ、政府報告書に記載されている最多減税額と同程度になりました。

トヨタ自動車は08年度から12年度の5年間、黒字の年度も含めて法人税(国税分)を1円も払っていませんでした。13年度には過去最高を更新する2兆3千億円近い営業利益をあげ、豊田社長が決算会見(14年5月8日)で「日本においても税金を納めることができる」ようになったと述べました。この年度にも巨額の減税を受けていたことになります。同社広報部は「納税額の内訳については開示していないので答えられません」と話しています。

解説

介護・生活保護
削減額に相当

トヨタ自動車の研究開発減税で負担を免れた1201億円とはどんな金額でしょうか。

安倍晋三政権は15年度予算案で社会保障費の自然増分を大幅に削減しています。このうち▽介護報酬の引き下げ▽生活保護の住宅扶助と冬季加算の切り下げ―という、新たな制度改悪による国庫負担の減額がちょうど1200億円程度です。

同社1社の減税分があれば、制度改悪を行わずに済む計算です。

有価証券報告書によれば、13年度は地方分を含む法人税の法定税率が37.3%だったのに、同社の実際の税負担率は26.8%にすぎませんでした。政府報告書によると同社は3種類の研究開発減税に加え、国内の設備投資額が増加した場合の控除など11種類の租税特別措置による減税を受けたとみられます。

租税特別措置の恩恵が特定の巨大企業に集中する不公平税制の根底には、企業献金による政治の腐敗があります。同社は13年、自民党の政治資金団体「国民政治協会」に対し6440万円(12年比1300万円増)の献金をしていました。

自民党への企業献金を呼びかけている経団連は研究開発減税の時限的な拡充措置の恒久化を求めてきました。控除の上

限を法人税額の原則20%から30%に引き上げている措置(14年度末まで)などです。政府・与党は基本的にこの要求を受け入れて15年度から恒久化する方針です。

税制をゆがめ、格差と貧困を広げる根本原因がここにあります。

2015年3月8日(日)

“「赤旗」は
保守政治家も登場”
滋賀・米原
平尾市長が答弁

滋賀県米原市議会の一般質問で北村喜代信議員(無所属)は6日、平尾道雄市長が2014年11月8日付「しんぶん赤旗」のインタビュー「2014黙ってはいられない」の取材を受けたことなどについて質問しました。

北村議員の「どのような経緯で、何を期待して取材に応じたのか」との質問に、平尾市長は「集団的自衛権行使容認の問題と原発問題について取材の依頼があった。報道機関の取材については、時間の許す限り受けており、通常の取材に応じたもの。取材であるので当方が期待するというものはない。あえて言えば、当方の真意を正しく伝えてほしいという期待はある」と答えました。

北村議員が「しんぶん赤旗」は共産党の機関紙だとだしたことについて、平尾市長は「いまや一般的に、この『赤旗』はかなりの購読数もあり、私の認識としては、必ずしも共産党員とか、そういった人たちが購読するものでないと認識している。先ほど申したように、報道機関という形で対応させていただいた」
「今日、『赤旗』については必ずしも革新派とか、共産党にシンパシーを持っている人たちだけではなしに、保守本流を歩いてこられた高名な政治家の方も登場しておられる」と答えました。

市職員の「しんぶん赤旗」の購読状況についての質問に、市の担当部長は「購読する、しないは、あくまで職員のご意思に委ねられるものであるため把握していない」と答えました。

2015年3月7日(土)

オープンスペースは大丈夫？

先週に引き続き、三月議会での私の一般質問の一部を御紹介します。防災計画では「火災による延焼防止を図るため、道路、公園・緑地、広場などのオープンスペースの整備を推進するとともに並木、工場などの大規模施設の周辺緑地、農地の保全に努め、延焼遮断効果の向上を図る」とされています。本当に町内に出来るだけオープンスペースを確保しておくことは大変重要なことです。そこで私は「売却予定と言われている旧第一体育館は、町内の密集地でもあるが故に大切な場所だから売却せず、火災による延焼、遮断効果の向上のため、緑地など避難

場所として残すよう検討されますか？」と質問しました。

答弁は「この土地及び建物を一体での売却に向けて進めている」とのことでした。

次に私は、「旧体育館は約一億円で売却するという予算案が出されているが、住民の命と一億円は比較にならないし、又すべきではない。地震が発生し火災が起きた時、本町内のオープンスペースは現状で充分ありますか？と聞くと「オープンスペースはあると考えてる」との答弁。

本当に大丈夫？？皆さんはどう思われますか？

田原本議会

議員

森良子



近鉄石見駅周辺整備説明会

近鉄石見駅周辺整備説明会が7日、午後1時半から約80名の参加。石見公民館で行われました。この説明会には三宅町のまちづくり推進課から部長、課長、係長が参加し説明。

説明では、駅前周辺整備を約10億円の費用をかけ、東西の駅前広場、ロータリー建設、駐輪場の設置で国の補助金が65%、町費が35%(町債を含む)で平成27年度から測量・設計を行い、関係機関との協議、西側駅前広場整備、駐輪場整備、道路整備、東側駅前整備、踏切拡張等を行い完成は平成31年度半ば

までかかるこのこと。

参加した住民からは、

「西南の駐輪場、利用しにくいのではないか」

「トイレ、交番などの設置を」「専門学校東側の信号の設置を」「西側に改札口を」「東広場の周

辺で送迎がおこなわれな

いか」「踏切の拡幅、近

鉄との折衝はどうなっているか」「道路優先な

か、町づくりの観光など

との関連は」などの意見

が出されました。参加

した三宅町職員は、「近鉄

との折衝は今後も続けて

いく。」「今回の図面は

案であり、今後トイレや

交番の設置などことある

ごとに皆さんに説明会を

開かせて頂きます」と答

えました。

三宅町 池田年夫

介護保険料大幅アップ

先週、議会の委員会介護保険料値上げが審議されました。

その中で、標準とされる「本人非課税で、年金収入と合計所得金額の合計が八〇万円を超えていて、世帯に税金を払っている方がいる場合」年間六万五千四百円と一万二千円の大幅な値上げになります。一言で一か月千円の値上げと説明されましたが、生活を圧迫する負担増です。値上げ額は、少ない人で三千円、一番多い方で三万一千円です。当初、国は、所得の低い方に配慮して引き下げる予定でしたが、「消費税

増税を先送りしたこと。」で負担減は撤回されました。

他市町村では、国基準より下げるなど配慮されている自治体もあります。住民の生活実態を顧みず「国基準の通り」提案するところが情けない限りです。そして、この値上げに反対したのは、私人というのもさみしい限りです。国の冷たい姿勢のツケ押し付けられても、町民の暮らしを守る町政であつてほしいものです。

最終日(十二日)に採

決が行われ

ます。

田原本議会

議員

吉田容工



学級定員は35人以下で！

ここの所、週末が下り坂になる天気。春が続きそうです。春はもうそこまで来ているようですが、予報では寒さもまだ繰り返すとの事です。寒さ対策は抜かりの有りませ

んように。と言いますのも、実は先週の私の

風邪ですが、診て貰う

とインフルエンザB型

に感染してしまして、

熱だけに留まらず節々

が脈を打って疼くよう

に痛みましてなかなか

大変でした。どちら様

もご自愛くださいね。

さて、今月は、10

日から19日まで川西

町の三月議会が開かれ

ます。

初日の本会議は午前

十時から役場三階の議

場で予定されています。

傍聴は自由ですのでご案内申し上げます。この日は、行政一般に関する何でも取り上げる事が出来ます。私は、小学校の学級定員について質問する予定です。

現在、川西小学校ではクラス編成が、6学年中4学年(1年生・2年生・4年生・5年生)で3クラスで組まれて

います。後、2学年

(現在2クラスで編成)

で実施すれば、全学年

が基本的に、より教育

環境の充実へ繋がる3

5人以下の定員での学

級編成となりますので、

是非、それを求めまし

て予算化されるよう、

町の姿勢を質して行く

予定です。

川西町議会

議員

芝和也

